

商品先物取引—委託のガイド

別 冊

1. 商品取引所一覧

商品取引所名	所在地等
	上場商品
大阪取引所	〒541-0041大阪府大阪市中央区北浜1-8-16 TEL06-4706-0800 https://www.jpx.co.jp/
	貴金属（金、金ミニ、ゴールドスポット、銀、白金、白金ミニ、プラチナスポット、パラジウム）、ゴム（RSS3号、TSR20号）、農産物（小豆、一般大豆、とうもろこし）、CME原油等指数
東京商品取引所	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1 TEL03-3661-1361 https://www.jpx.co.jp/
	石油（バージガソリン、バージ灯油、バージ軽油、ドバイ原油、） 中京石油（中京ローリーガソリン、中京ローリー灯油）、電力、LNG
堂島取引所	〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 TEL06-6531-7931 http://www.kanex.or.jp
	貴金属（金、銀、白金）農産物（とうもろこし、小豆、米国産大豆） 砂糖（粗糖）

※大阪取引所の金ミニ、ゴールドスポット、白金ミニ、プラチナスポット、CME原油等指数
東京商品取引所のドバイ原油、電力、LNGの取引方法は現金決済型商品先物取引です。

※大阪取引所のゴールドスポット、プラチナスポットは他の上場商品と異なり、限月制ではなく毎営業日終了の時点をもって取引の期限が到来する限日取引という制度を採用しています。

2. 主要上場商品の取引単位と値動きによる売買差損益金一覧表

上場品目	呼値	呼値単位	取引単位	倍率	〇〇円値動きした時の 売買差損益金
大阪取引所					
金（標準）	1 g	1 円	1 kg	1,000 倍	10 円 → $10 \times 1,000$ =10,000 円
金（ミニ）	1 g	50 銭	100 g	100 倍	10 円 → 10×100 =1,000 円
ゴールドスポット	1 g	1 円	100 g	100 倍	10 円 → 10×100 =1,000 円
銀 2024年4月限まで	1 g	10 銭	10 kg	10,000 倍	1 円 → $1 \times 10,000$ =10,000 円
銀 2024年6月限以降	1 g	10 銭	30 kg	30,000 倍	1 円 → $1 \times 30,000$ =30,000 円
白金（標準）	1 g	1 円	500 g	500 倍	10 円 → 10×500 =5,000 円
白金（ミニ）	1 g	50 銭	100 g	100 倍	10 円 → 10×100 =1,000 円
プラチナスポット	1 g	1 円	100 g	100 倍	10 円 → 10×100 =1,000 円
パラジウム 2024年4月限まで	1 g	1 円	500 g	500 倍	10 円 → 10×500 =5,000 円
パラジウム 2024年6月限以降	1 g	1 円	3 kg	3000 倍	10 円 → $10 \times 3,000$ =30,000 円
ゴム（RSS3号）	1 kg	10 銭	5 t	5,000 倍	1 円 → $1 \times 5,000$ =5,000 円
ゴム（TSR20号）	1 kg	10 銭	5 t	5,000 倍	1 円 → $1 \times 5,000$ =5,000 円
とうもろこし	1 t	10 円	50 t	50 倍	100 円 → 100×50 =5,000 円
一般大豆	1 t	10 円	25 t	25 倍	100 円 → 100×25 =2,500 円
小豆	30 kg	10 円	2,400 kg	80 倍	100 円 → 100×80 =8,000 円
CME原油等指数		0.05 ポイント	CME原油等指数 ×10,000 倍	10,000 倍	1 ポイント → $1 \times 10,000$ =10,000 円

上場品目	呼値	呼値単位	取引単位	倍率	〇〇円値動きした時の 売買差損益金
東京商品取引所					
バージガソリン	1 kℓ	10 円	50 kℓ	50 倍	100 円 → 100×50 =5,000 円
バージ灯油	1 kℓ	10 円	50 kℓ	50 倍	100 円 → 100×50 =5,000 円
バージ軽油	1 kℓ	10 円	50 kℓ	50 倍	100 円 → 100×50 =5,000 円
ドバイ原油	1 kℓ	10 円	50 kℓ	50 倍	100 円 → 100×50 =5,000 円
中京ローリーガソリン	1 kℓ	10 円	10 kℓ	10 倍	100 円 → 100×10 =1,000 円
中京ローリー灯油	1 kℓ	10 円	10 kℓ	10 倍	100 円 → 100×10 =1,000 円
LNG	1mmBtu	10 銭	1000mmBtu	1000 倍	1 円 → $1 \times 1,000$ =1,000 円

上場品目	呼値	呼値単位	取引単位	倍率	〇〇円値動きした時の 売買差損益金
堂島取引所					
金	1 g	10 銭	10 g	10 倍	100 円 → 100×10 =1,000 円
銀	1 g	1 銭	1 kg	1,000 倍	1 円 → $1 \times 1,000$ =1,000 円
白金	1 g	10 銭	10 g	10 倍	100 円 → 100×10 =1,000 円

3. 主要上場商品の立会時間と限月一覧表

商品取引所	上場品目	立会時間	限 月
大阪取引所	金	日中立会 8：45～15：15 夜間立会 16：30～翌6：00	12ヵ月以内の偶数月
	金ミニ	〃	12ヵ月以内の偶数月
	ゴールドスポット	〃	—
	銀	〃	12ヵ月以内の偶数月
	白 金	〃	12ヵ月以内の偶数月
	白金ミニ	〃	12ヵ月以内の偶数月
	プラチナスポット	〃	—
	パラジウム	〃	12ヵ月以内の偶数月
	とうもろこし	〃	12ヵ月以内の奇数月
	一般大豆	〃	12ヵ月以内の偶数月
	小 豆	〃	連続6限月
	CME原油等指数	〃	連続6限月
	ゴム（RSS3号）	日中立会 9：00～15：15 夜間立会 16：30～19：00	連続12限月
	ゴム（TSR20号）	〃	連続12限月
	東京商品取引所	バージガソリン	日中立会 8：45～15：15 夜間立会 16：30～翌6：00
バージ灯油		〃	連続6限月
バージ軽油		〃	連続6限月
ドバイ原油		〃	連続15限月
中京ローリーガソリン		〃	連続6限月
中京ローリー灯油		〃	連続6限月
LNG		〃	連続15限月
堂島取引所	金	日中立会 9：00～15：00 夜間立会 16：30～翌6：00	—
	銀		
	白金		

4. 損益計算の具体例

(1) 大阪取引所の「金（標準取引）」を1 g 7,500円の約定値段で3枚買った場合
(1枚当たりの手数料を片道18,040円とします)

⇒ 1 g 7,600円に値上がりした時に転売（決済）すると

$$\begin{array}{rcl} \text{売値} & & \text{買値} & & \text{1 gあたりの差益} \\ 7,600 \text{ 円} & - & 7,500 \text{ 円} & = & 100 \text{ 円} \end{array}$$

$$\begin{array}{rcl} \text{1 gあたりの差益} & & \text{倍率} & & \text{1枚あたりの差益} \\ 100 \text{ 円} & & \times 1,000 \text{ 倍} & = & 100,000 \text{ 円} \end{array}$$

$$\begin{array}{rcl} \text{1枚あたりの差益} & & \text{売買枚数} & & \text{売買差益} \\ 100,000 \text{ 円} & & \times 3 \text{ 枚} & = & 300,000 \text{ 円} \end{array}$$

3枚分の手数料は

$$\begin{array}{rcl} \text{新規} & \text{仕切り} & \text{売買枚数} & & \text{往復手数料} \\ (18,040 \text{ 円} + 18,040 \text{ 円}) & & \times 3 \text{ 枚} & = & 108,240 \text{ 円} \end{array}$$

実質的な利益金は

$$\begin{array}{rcl} \text{売買差金} & & \text{往復手数料} \\ 300,000 \text{ 円} & - & 108,240 \text{ 円} & = & 191,760 \text{ 円} \end{array}$$

⇒ 1 g 7,400円に値下がりした時に転売（決済）すると

$$\begin{array}{rcl} \text{売値} & & \text{買値} & & \text{1 gあたりの差損} \\ 7,400 \text{ 円} & - & 7,500 \text{ 円} & = & \triangle 100 \text{ 円} \end{array}$$

$$\begin{array}{rcl} \text{1 gあたりの差損} & & \text{倍率} & & \text{1枚あたりの差損} \\ \triangle 100 \text{ 円} & & \times 1,000 \text{ 倍} & = & \triangle 100,000 \text{ 円} \end{array}$$

$$\begin{array}{rcl} \text{1枚あたりの差損} & & \text{売買枚数} & & \text{売買差損} \\ \triangle 100,000 \text{ 円} & & \times 3 \text{ 枚} & = & \triangle 300,000 \text{ 円} \end{array}$$

3枚分の手数料は

$$\begin{array}{rcl} \text{新規} & \text{仕切り} & \text{売買枚数} & & \text{往復手数料} \\ (18,040 \text{ 円} + 18,040 \text{ 円}) & & \times 3 \text{ 枚} & = & 108,240 \text{ 円} \end{array}$$

実質的な損失金は

$$\begin{array}{rcl} \text{売買差損} & & \text{往復手数料} \\ \triangle 300,000 \text{ 円} & - & 108,240 \text{ 円} & = & \triangle 408,240 \text{ 円} \end{array}$$

(2) 大阪取引所の「とうもろこし」を1 t 42,000円の約定値段で3枚売った場合 (1枚当たりの手数料を片道5,830円とします)

⇒ 1 t 43,000円に値上がりした時に買戻し(決済)すると

売値	買値	1 tあたりの差損
42,000円	43,000円	= △1,000円

1 tあたりの差損	倍率	1枚あたりの差損
△1,000円	× 50倍	= △50,000円

1枚あたりの差損	売買枚数	売買差損
△50,000円	× 3枚	= △150,000円

3枚分の手数料は

新規	仕切り	売買枚数	往復手数料
(5,830円+5,830円)		× 3枚	= 34,980円

実質的な損失金は

売買差損	往復手数料	
△150,000円	- 34,980円	= △184,980円

⇒ 1 t 41,000円に値下がりした時に買戻し(決済)すると

売値	買値	1 tあたりの差益
42,000円	41,000円	= 1,000円

1 tあたりの差益	倍率	1枚あたりの差益
1,000円	× 50倍	= 50,000円

1枚あたりの差益	売買枚数	売買差益
50,000円	× 3枚	= 150,000円

3枚分の手数料は

新規	仕切り	売買枚数	往復手数料
(5,830円+5,830円)		× 3枚	= 34,980円

実質的な利益金は

売買差益	往復手数料	
150,000円	- 34,980円	= 115,020円